

1 図書館資料の収集

(1) 一般資料の収集

今年度も引き続いて基本図書・参考図書の充実と資料全体の調整につとめた。

収集した基本図書の一部には、「現代哲学の主潮流」「現代社会の諸問題と宗教」「日本の民俗宗教」「縄文文化の研究」「日本の古典籍と古代史」「幕府制度史の研究」「朝鮮終戦記」「各駅停車全国歴史散歩」「朝鮮半島の分断構造」「イギリス地方自治制度論」「反核・軍縮宣言集」「戦後地方行財政資料」「近世村落の身分構造」「家族関係と家族福祉」「ロシア労働政策史」「高齢化社会の雇用と生活」「世界の教育改革」「教育制度変革の理論」「南極の科学」「ダム湖の生態学」「中国東北区（満州）の植物誌」「水利の開発と調整」「陸水環境調査法」「地域開発と産業構造」「広葉樹林とその施設」「現代書」「平安時代文学語彙の研究」「ロシア語の音声」「古代文芸思想史の研究」「古代の文学シリーズ」「現代韓国詩人選」等の図書がある。

参考図書の主なものとしては、「日本植生誌」「ホスピスケアハンドブック」「ファインセラミックスハンドブック」「全國の物産と産業」「林業百科事典」「琉球全集総索引」等がある。

全集・資料集の主なものでは、「萬朝報（復刻）」「ルソ全集」「明治農書全集」「産業組合調査資料」「古筆手鑑大成」「連歌貴重文献集成」等がある。

美術書では、「朝日美術館風土記シリーズ」「日本佛教美術史研究」「日本画素描大観」「高橋由一油畫資料」「土門拳全集」等がある。

受入れ状況は〔表1〕のとおりである。

〔表1〕 資料の受入れ整理状況

昭和59年度

区分	購入	寄贈	編入	管理換	計
一般図書（館内）	15,137	278	193	—	15,608
〃（館外）	3,942	1,666	—	—	5,608
特殊文庫（館内）	—	25,963	—	—	25,963
児童図書（館内）	6,516	188	—	—	6,704
〃（館外）	3,744	838	—	—	4,582
小計（館内）	21,653	26,429	193	—	48,275
小計（館外）	7,686	2,504	—	—	10,190
合計	29,339	28,933	193	—	58,465冊

（注）特殊文庫冊数の内訳は、小野崎文庫13,500冊、中島文庫8,105冊、佐藤清太文庫4,358冊である。

(2) 郷土資料の収集

今年度から新たに郷土資料係が設置され、視聴覚資料も含めた郷土資料の収集につとめた。

「安達憲政史」「福島県通史」「集古十種」等の復刻版をはじめ、「安積高校新聞」「会津高校学而新聞」「須女高新聞」等の縮刷復刻版や、「福島県郡統計書集成」「東北民俗資料集」「郡市山史統編」「庄司吉之助著作集」等の基礎資料のほか、「田中冬二全集」「荒正人著作集」「角田文衛著作集」

等の県人による著作を収集した。

また、「尾瀬ハイキング」「日曜散歩信夫山」「ふくしま少年あそびの民俗詩」「斎藤清の世界」等の親しみやすい本の収集にも留意した。

(3) 視聴覚資料の収集

収集したおもなものは、16ミリフィルムでは、「ふるさとの歴史」（須賀川）「張子の里」（三春）「会津御薬園」（会津）等である。

ビデオテープでは、「会津若松獅子舞」「三春駒・三春張子」等の市販ビデオのほか、「無線塔」（原町市教委）「わたしたちの信夫山」（福島市児童文化センター）「風雪会津鶴ヶ城」（会津シネクラブ）「遙かなる光芒・朝河貫一」（福島中央テレビ）等の自主制作作品の収集にもつとめた。

(4) 児童図書研究図書の収集

児童図書の研究資料には、「戦後児童文学作品論」「現代日本児童文学論」「児童文学・研究と創作」「児童文学（復刻）」「おとぎの世界（復刻）」「洋書絵本（フランス語版）」等の資料がある。

2 図書館資料の整備

(1) 資料の収集

最近における出版界のもとでは、資料の収集にあたって難しい面もあったが、出版年の古いものについても、各部門の基本的資料の収集に努力した。また、地方の出版物については、網ら的に収集するとともに、県民の生活に影響を及ぼす地域開発関係等の資料についても収集につとめた。

(2) 逐次刊行物の整備

今年度より逐次刊行物が新設されたのを機に、多様で迅速な情報の入手を求める利用者の要望に応えるべく、逐次刊行物の収集と整備につとめた。雑誌については、購入・寄贈合わせて約900誌、新聞は62紙である。また、特許公報類は、7誌あり、年間増加数約7,220冊（公報類のみ）にのぼった。

第3節 館内奉仕

1 調査相談

県立図書館のメイン業務ともいえる調査相談は、年々充実されてきているが、新館の落成を機に、さらに強化充実された。

なかでも、県の調査センターとしての役割から、郷土部門と逐次刊行物部門を新設し、県民の多様化する情報要求に応えられるように整備した。

本年度の調査相談件数は〔表2、3〕のとおりである。

2 相互貸借

これまでの利用は、比較的低調で県内の2～3の図書館にとどまっていたが、資料センターとして出発したこともあり、図書館はもちろん、公民館からの利用が相次ぎ、第二線図書館としての成果をあげることができた。

本年度の利用状況は〔表4、5〕のとおりである。